



目次

| 第1章 基本部 1-1 ツールビューの拡張1-1 1-2 枠選択 CSB1-4 1-3 レイヤー分解1-5 |
|--|
| 第2章 ファイル 2-1 開く |
| 第3章編集 3-1 交点間消去 |
| 第4章 建築 4-1 戸4-1 4-2 階段4-2 4-3 インサート4-8 |
| 第5章 電設 5-1 SY属性表示5-1 5-2 情報出力5-2 5-3 情報表示5-4 |
| 第6章作図 6-1 円 |

第7章 補助

| 7 - 1 図枠呼出 | 1 |
|---|----|
| 7 - 2 隠線再計算 | 1 |
| 7-3 計測コマンド全般7- | 2 |
| 7 — 4 距離計測 7- | 3 |
| 7-5 システム設定 / 全般 2 | 4 |
| 7-6 システム設定/検出7- | 5 |
| 7-7 システム設定 / 寸法 | 7 |
| 7-8 システム設定/標準図面7- | 8 |
| 7-9 システム設定/表示7- | 9 |
| 7-10 システム設定 / バインダー | 10 |
| 第8章 オプション 8-1 カラーラスターライト (新規オプション)8- | 1 |
| | |

| 8 - 1 + 1 | コラーラスターラ | イト(新規オプシ | >>ン) | 8- 1 |
|-----------|----------|----------|------|------|
|-----------|----------|----------|------|------|





ツールビューの拡張

図面重ね合せ表示・エクスプローラ・部品一覧などの複数ビューを追加しました。

【ツールビュー右位置への変更について】

ツールビューのバーの上でダブルクリックすることで、左側から右側へ、また 右側から左側へ変更します。

変更先に右パネルが存在する場合は、自動的に隠れるモードに変わります。





システム設定 / バインダーのバインダー編集の起動 / ツールビューの表示方法 によって、動作が多少異なります。

【オンマウスで自動的に表示する】を選択した場合、右側にツールビューを移 動させると、右側にオンマウスしても表示されません。(右側にパネルを表示 している場合)

この場合、元に戻すには、右パネルを全て非表示にするとオンマウスで表示されます。

【ツールビュー「バインダー閉じる」について】

ツールビューの図面構成部に表示されているバインダー名上で右クリックして 表示されるポップアップメニューに「バインダー閉じる」コマンドを追加しま した。

ウィンドウタイトルバーの×印をクリックした時と同じ動作をします。



【ツールビュー「重ね合せ表示」について】

ツールビューの図面構成部に表示されているバインダー名およびタグ名上でマ ウス右ボタンで表示されるポップメニューに「重ね合わせ表示」コマンドを追 加。



異なる図面同士を重ね合わせて表示する機能です。 これは、干渉または変更された部分をより素早く正確にチェックするために使 用します。

【ツールビュー「エクスプローラビュー」について】

エクスプローラビューを選択すると、動作するパソコン全てのフォルダが表示 されます。拡張子ビューを切り替えることで、外部入力可能なデータは全てこ こから選択をすることができます。



選択フォルダ内のファイルの表示するタイプは拡張子 ビューより選択します。



変換条件設定はあくまでも確認のためです。 条件を変更したい場合はファイル / 外部入出力の各変換 条件設定より変更してください。 【ツールビュー「重ね合せビュー」について】

重ね合せビューを選択すると、異なる図面間を重ね合せて表示しますので、干 渉または変更された部分をより早く正確にチェックすることができます。



【ツールビュー「部品一覧」について】

図面に埋め込まれている「参照部品」「埋め込み部品」を一覧で表示する機能 ですが、本システムは参照部品・埋め込み部品に対応しておりません。

枠選択 CSB

1 – 2

枠選択 CSB

枠選択 CSB に「D. 形状」ボタンを追加しました。 また新たな選択方法も追加しました。

| - | 移動 | 1.選択 | 2.解除 | 3.単独 | 4.全部 | 5.枠内 | 6.枠上 | 7.枠外 | 完了 |
|---|----|------|------|------|-------|-------|--------|------|----|
| Ъ | 前適 | 8.方法 | 矩形 ↓ | 0.+- | Aクリアー | Bスタイル | 0.144- | D.形状 | 取消 |

作図されている要素(線分、円、円弧、楕円、楕円弧)の大きさを指定して、 選択範囲の許容値とすることができます。CSBの[D. 形状]をマウス右ボタン でクリックします。以下のダイアログボックスが表示されます。

| 形状選択 | | | | × |
|------|-------|------|-------|----|
| 要索 | パラメータ | 範囲指定 | | 追加 |
| | | | | 編集 |
| | | | | 削除 |
| | | | | |
| | | | | 呼出 |
| | | | | 保存 |
| 1 | | | | |
| | | ОК | キャンセル | |

パラメータを追加します。

[追加] ボタンをクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

| パラメータ語の定 | |
|----------------|---------------|
| 要素: 報分 💌 パラメータ | : 長さ <u>・</u> |
| | 1 |
| |] |
| ○ 上下限 0 < ▼ | d < 💌 🛛 |
| | OK +NUEN |

各要素ごとに、各種のパラメータの許容値(上限 / 下限)を設定することがで きます。

OK ボタンをクリックすると、[形状選択ダイアログボックス] にパラメータが 追加されます。

| 要索 線分 円弧 | バラメータ 長さ 半径 半径 半径 | ■範囲指定 d = 1000000000 d = 150000000 1000000000 < d < 5000. | <u>道加</u> 編集 前1除 呼出 保存 |
|----------------|-------------------------------|--|------------------------------------|
| | | OK ++>セル | ヘルプ |

設定値は、まとめてファイルに保存し、必要な時に呼び出すことができます。

1 — 3

レイヤー分解

レイヤ分解時に、レイヤー名称の入力・変更ができる機能を追加しました。

右パネルのレイヤー分解表示をした時に、レイヤー名称が表示される部分をダ ブルクリックすると、レイヤー名称・縮尺設定ダイアログボックスが表示され ます。



レイヤー分解時の操作中レイヤーをメッセージ欄に表示するようにしました。

レイヤー操作 複写 複写先レイヤーを指定してください(複写元:01B 01L)



バインダー図面に対し、図面のサンプルイメージを表示するウィンドウの下にあるバーの上 でマウス右クリックすると、HDDを構成するシート図面の表題を表示します。





選択用でなくバインダを構成するシート図面の確認用です。 拡張子が hdd でない図面は表示しません。

シンボルリスト

新規コマンド

シンボルー覧を表示・印刷する機能を新規コマンドとして追加しました。

シンボルリストコマンドを実行すると下図のウィンドウが表示されます。

| [●] | | |
|--|-----------------------------|----|
| シンボル名 🔹 | ビュー種類 ビュー1 💌 ズーム 75% 💌 | |
| シンボルデータ属 | 属性リスト[無題] ☞哪呾:2006年3月19日 | 1 |
| シンボル名称及び属性 | シンボル名称及び属性 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | -1 |
| 4 | | Þ |
| b7°ł | 1 | |



プルダウンメニューの表示 / 設定により、各種設定を行います。 設定コマンドを実行すると下図の設定ダイアログボックスが表示されます。

| 設定 | × |
|----------|-----------------|
| 初期バス | 参照 |
| □ 黒白印刷す | る。 □ 基準点は印刷しない。 |
| - ビュー種類 | |
| ⊙ ೮ಷ∽1 | |
| 0 Ľa - 2 | |
| 0 ビュ~3 | K K K K |
| | ■ シンボルコード印刷する。 |
| 登録 | 取消 |

初期パス

初期パス 参照

開くコマンドで、最初に開かれるフォルダを指定します。 初期パスにシンボルファイルの存在するフォルダを指定した場合、起動時には 「ファイル名」のプルダウンにそのフォルダ内のシンボルファイル名が表示さ れます。

【方法】

①[参照]ボタンをクリックし、設定したいフォルダパスを選択します。
 ②選択が完了すると下図のように初期パスが反映されます。



黒白印刷する 「

□ 黒白印刷する。

チェックがオンの時、表示されたシンボル色彩に関係なく白黒で印刷をします。 チェックがオフの時、シンボルの色彩で印刷されます。

 基準点は印刷しない。

 しない

 チェックがオンの時、シンボルの配置原点を印刷しません。

 チェックがオフの時、シンボルの配置原点を印刷します。

ビューの種類



シンボルの形状とシンボル名称・シンボルコード・シンボル高さ・第1属性・ 第2属性を2列に表示します。

| ▲シンボルデータ居住端辺 - (1)セル100 sym) □ 77(6/E) 表示(2) クルドウ(2) へん7 ⁵ (2) | × |
|--|---------------------------------------|
| 🛎 🕒 🖪 👳 着 🔟 | |
| シンボル名 Iンセント100.sym 💌 | ビュー種類 ビュー1 ・ ズーム 75% ・ |
| シンボルデータ属性 | ビリスト [コンセント100] 「新聞日::cooxid: 2月 19日 |
| シンボル名称及び属性 | シンボル名称及び層性 |
| -#EE(0211)x 4000110000015840000010 200 | |
| | |
| 249%(0R40) | 2018/08/12 |
| 300 T | |
| -###iccov/##rt) 40091100303008a.0010010 900 | 20 40051100303015&a0000010 300 |
| | |
| 174 | |

| | | 電気総(機械管備) | |
|--------|----|-------------------------|----|
| o | | 405009006600008#0000005 | |
| • E=-2 | Iκ | | - |
| | | | -1 |

シンボルの形状とシンボルの属性すべてを表示します。



シンボルの形状を6列8段に一覧で表示します。

ビュー3を選択すると、シンボルコードを印刷する・しないのチェックボック スが選択可能となります。







-

シンボル名 コンセント100.sym

現在選択されているシンボルファイルの名称が表示されます。

 をクリックすると現在選択されているシンボルファイルと同じフォルダ内
 に存在するシンボル全てが表示されます。



ビュー種類 ビュー1 💽

表示方法を「ビュー1」「ビュー2」「ビュー3」より選択します。

をクリックすると表示方法の一覧が表示されますので、都度表示を切り替えます。

※各ビューの表示対応は前ページを参照してください。



シンボル一覧を表示する時のパーセントを選択します。

マ をクリックするとズームの種類の一覧が表示されます。



※一覧以外のパーセントでの表示は出 来ません。

印刷フォーム 下図のようにページの先頭にはシンボル属性リスト「ファイル名」が表示され、 一覧の右上には印刷した日時が記載されます。

| | シンボルデータ属性リスト [コンセント100] (印刷日:2005年 3月 19日) | | | | | |
|---------------------------------|--|---------------------|-----------------------------|--|--|--|
| | シンボル名称及び属性 | | シンボル名称及び属性 | | | |
| | — 般形(壁付)a | \langle | - 般形(筆付)b | | | |
| $ \langle \rangle \rangle$ | 400511 0030301 5&a000001 0 | $\langle \rangle$ | 400511 0030301 5&a001 001 0 | | | |
| | 300 | $\{ \circ \circ \}$ | 300 | | | |
| | | \sim | | | | |
| | | ¢ | | | | |

下図のようにページの最後には、印刷したシンボルのフルパスとページ番号が 記載されます。

| | 非常用コンセントb | | 非常用コンセントG首次栓組込為 | 1 |
|---------------------|--|-----------|---------------------------|------------|
| | 405002001 00000350001 01 0 | | 405002001 00003&a000001 0 | 1 |
| (0 0) | 1300 | | 1300 | 1 |
| | | | | 1 |
| | | | | \vdash |
| 「パス名 : D:¥ced_dene¥ | 説品データ集¥ciytdata¥VER802¥シンボル¥電気設備¥協会準拠200 | 11¥1_100¥ | PageNa : 2/3 | |
| | | | | \nearrow |

シンボル編集

新規コマンド

複数シンボルファイルの中から任意のシンボルデータを選択し、1 つのシンボルファイルに まとめる新規機能です。

シンボル編集コマンドを実行すると下図のウィンドウが表示されます。

| 💑 シンボルデータ編集 - データ名 [無題 |]] | | | | × |
|--------------------------|-----------------|-----------------|----------|----------------------------------|---|
| ファイル(E) 表示(2) ウイントワ(2) ヘ | μ7"(<u>H</u>) | | | | _ |
|] | | | | | _ |
| シンボル名 | | <u>・</u> ズーム [8 | iox 🗾 | | |
| 👺 データ名 [無題] | | | | | |
| | シンボル編集 | (リスト [無題] | | [1] 明 田 : 2005 年 6 月 19 日 | |
| シンボル及び名称 シンボル及び名称 | シンボル及び名称 | シンボル及び名称 | シンボル及び名称 | シンボル及び名称 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | I | 1 | 1 | |



プルダウンメニューの表示 / 設定により、各種設定を行います。 設定コマンドを実行すると下図の設定ダイアログボックスが表示されます。

| 没定 | | × |
|-----------|--------------|----------------|
| 初期パス | | 参照 |
| □ 黒白印刷する。 | □ 基準点は印刷しない。 | □ シンボルコード印刷する。 |
| 登録 | 取消 | |

初期パス



開くコマンドで、最初に開かれるフォルダを指定します。

初期パスにシンボルファイルの存在するフォルダを指定した場合、起動時には「ファイル名」のプルダウンにそのフォルダ内のシンボルファイル名が表示されます。

【方法】

[参照]ボタンをクリックし、設定したいフォルダパスを選択します。
 ②選択が完了すると下図のように初期パスが反映されます。

| 初期バス <mark>taa</mark> | f製品データ集¥ciytd | lata¥VER8 | 02¥シンボル¥電区 | 記号 参照 |
|--|--|-----------|---|----------|
| 上記のようフ | なパス設定をしたな | 湯合 | | |
| シンボルデータ開く | | | ? 🗙 | |
| ファイルの場所の 🔂 🗃 竜 | (図記号 | | • | |
| | CSYM e)計構変圧SYM ッf1.sym e)割削保護SYM ッf2.sym e)電炉用地SYM 的をSYM e)電力間1.SYM 転提単SYM e)電力間2.SYM を提進SYM e)電力間2.SYM | | | Reno: |
| | コイルSYM 副変圧他単SYM | シンボル名 | 制御保護。SYM | |
| マイドキュメント 創催 | 載器1.5TM 通知主他成5TM 電器2.SYM | | 制御保護SYM 回転機単SYM | |
| √1 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 2 → | BSYM | | 回転機複.SYM 変圧他単.SYM | |
| 774/JJ | 名(N): Kaym の時間(T) Substitution (Kayma) | | 変圧他複SYM 維 <u>コイ</u> ルSYM | |
| <u>1 v1 жэрэ-э</u> 27 би | NAME D. DOWNER & COMME | | alteration (HTTE) (HTT | • |

黒白印刷する 📃 黒白印刷する。

チェックがオンの時、表示されたシンボル色彩に関係なく白黒で印刷をします。 チェックがオフの時、シンボルの色彩で印刷されます。

 基準点は印刷
 基準点は印刷しない。

 しない
 チェックがオンの時、シンボルの配置原点を印刷しません。

 チェックがオフの時、シンボルの配置原点を印刷します。

シンボルコー ドを印刷する

チェックがオンの時、シンボルコードを印刷します。 チェックがオフの時、シンボルコードを印刷しません。



その他

シンボル名 コンセント100.sym

現在選択されているシンボルファイルの名称が表示されます。

をクリックすると現在選択されているシンボルファイルと同じフォルダ内に存在するシンボル全てが表示されます。



ズーム 125% 💽

シンボル一覧を表示する時のパーセントを選択します。

をクリックするとズームの種類の一覧が表示されます。

| (HA | 125% 💌 |
|-----|--------------|
| | 50% 75% |
| | 100% 125% |
| | 150% 200% |

※一覧以外のパーセントでの表示は出 来ません。

Ŧ

操作方法

ファイルメニューから「新規作成」を選択します。
 下図ように空のシンボルファイルが表示されます。



- シンボルファイルに合成したいシンボルが含まれるシンボルファイルを開き ます。
 - ファイルメニューから「開く」を選択し、目的のシンボルファイルを開きます。

| H | シンボルデータ | 扁栗 - RLC.SYN | 4 | | | | _ 🗆 🗡 | |
|--------|---------------------------|--------------|------------------|------------|----------------|---------------------|-------|--|
| 7 |)ァ(ル(E) 表示(| ⊻ り心ドウѠ | ^ルフ°(<u>H</u>) | | | | | |
| I | 🗅 😂 🖬 🎼 | 🖻 📐 🔍 🖣 | 5 m | | | | | |
| | シンボル名 RLC.SYM 🔹 ズーム 40% 💌 | | | | | | | |
| RLCSYM | | | | | | | | |
| 1 | | | シンボル編集 | リスト[RLC] | | 000.2004.20 of | | |
| ш | 50401#128数 | CORNELCORD | しいない血に必要 | SCHOLDORD. | しいない血びる際 | SCHOLDUS BR | | |
| | | -// | സംസം | | ->> | | | |
| Ш | 9,04 | 120.06 | الماروح ا | 12,214 | 123214 | 222 | | |
| | | - | \sim | - | \overline{m} | $\overline{\gamma}$ | | |
| Ш | -20 | 9200 | 123,084 | (20,0M | 123.04 | 123.0 | | |
| | | www | <u>u</u> | uf | - | + | | |
| Ľ | 1 | | | | | | | |
| V | ₹°1 | | | | | | | |

③新規ファイルと、②で開いたファイルを並べて表示します。 ウィンドウメニューから「並べて表示」を選択します。 下図のようにファイルが横に2つ並んで表示されます。

| | シンボルデータ | 扁集 - RLC.SYN | 1 | | | | | - | Π× |
|---|------------------|--------------|-------------------|------|---|--------------|---------------|-----------|-------|
| | ファイル(E) 表示(| 🗵 ሳብላዮማ 🖤 | ^\₽7°(<u>H</u>) | | | | | | |
|] | 🗅 📂 🔚 🤅 | 🦻 📐 💐 🦉 | 500 | | | | | | |
| Ī | シンボル名 🛛 | LC.SYM | | | | | - La 40% | • | |
| Γ | 🔛 RLC.SYM | | | '× | I | 🕎 データ名 [無星 | | _1 | 'N |
| | | | シンボル編集 | y7 🔺 | | | | シンボル編集 | (97 🔺 |
| I | シン・南京山道の長田 | シンボルルの名誉 | シンボル曲び自動 | FΠ | | うくっ Rinalの名字 | 3/2+R01-BCF#R | シン・ポルルビル部 | FT |
| | | -// | ԴՌՆ | | | | | | |
| | 120,04 | 123,194 | 123,64 | | | | | | L |
| | | | \sim | | | | | | |
| | 449 | 42.01 | (23,014) | | | | | | |
| | | 1 XXXX | <u></u> | | | | | | |
| ι | τ ⁷ 1 | | | | | | | 1 | |

④開いたシンボルファイルの中から目的のシンボルの上にマウスを移動させる
 と、そのシンボルが赤枠で選択されます。

| シンボルデータ | 😵 シンボルデータ編集 - データ名 [無題] | | | | | | | |
|----------------------|-------------------------|------------------|-----------|--------|-------|-----------|----------|-----------|
| ファイル(<u>F</u>) 表示(| 19 ウルドウ(19) | ^ルフ*(<u>H</u>) | | | | | | |
|] 🗅 😂 🖬 4 | D 😂 🖬 🎒 📐 👒 👼 🔟 | | | | | | | |
| 」シンボル名 R | LC.SYM | | | - | ズ | - La 40% | • | |
| 🔛 RLC.SYM | | | ' | 1日 データ | 名 [無] | <u>9)</u> | | |
| | | シンボル編集 | y7 🔺 | | | | シンボル畑川 | K97 🔺 |
| SCHRMEGER | その名があび来来 | うためのあび赤野 | F | 30.84 | 重なな影 | うつかいまび水平 | シンボル曲び右部 | ∓_ |
| | -// | ഡം | | | | | | |
| 123,64 | 123,00 | 123,061 | | | | | | |
| | | \sim | | | | | | |
| - 400 | 4201 | 123,014 | | | | | | \perp |
| | | <u>u</u> | • • // | | | | | ► ► // |
| 1/7°4 | | | | | | | 1 | |

赤く選択されている状態にマウスの右ボタンをクリックするとメニューが表示されます。

| <u>२८</u> न्ति)। | 止びお酢 | その市川山北のお井 |
|------------------|-------------|-----------|
| | 追加 | -^\&/ |
| 12 | 先頭(3 挿 入 | ;挿入 |
| - | 切り取 コピー | ם מ |
| | 削除 | _ |
| | 取消 | |

```
追加:
 別のシンボルファイルを、現在のシンボルファイルの最後に追加し
 ます。
先頭に挿入:
 別のシンボルファイルを、現在のシンボルファイルの先頭に挿入し
 ます。
挿入:
 別のシンボルファイルを、現在のシンボルファイルのマウスカーソ
 ルの位置に挿入します。
切り取り:
 赤く検出されているシンボルを切り取ります。
コピー:
 赤く検出されているシンボルをコピーします。
削除:
 赤く検出されているシンボルを削除します。
取消:
 コピーや切り取り等の作業を取り消します。
```

例えば「コピー」を選択します。

⑤ コピーをしたシンボルは青枠で囲まれます。

マウスカーソルを新規作成で開いたシンボルファイルに移動します。



⑥新規作成で開いたシンボルファイルの上でマウス右ボタンをクリックすると メニューが表示されます。



```
追加:
 別のシンボルファイルを、現在のシンボルファイルの最後に追加し
 ます。
先頭に挿入:
 別のシンボルファイルを、現在のシンボルファイルの先頭に挿入し
 ます。
挿入:
 別のシンボルファイルを、現在のシンボルファイルのマウスカーソ
 ルの位置に挿入します。
貼付け:
 コピーまたは切り取りをしたシンボルをマウスカーソルの位置に貼
 り付けます。
削除:
 赤く検出されているシンボルを削除します。
取消:
 コピーや切り取り等の作業を取り消します。
```

今回は「<u>貼付け」</u>を選択します。

⑦ 新規作成で開いた空のシンボルファイルに、別ファイルより選択した任意の シンボルがコピーされます。



このような操作を繰り返すことで、必要なシンボルを1つのファイルにまと めたりすることができます。

⑧シンボルの合成が完了したらファイルメニューより「名前を付けて保存」を 選択し、任意のファイル名をつけて保存します。



コピーや切り取り・削除などのシンボルの選択は、Windowsの基本操作と同様 に CTRL を押しながらクリックした場合はランダムに複数のシンボルを指定で きます。

SHIFT を押しながら2つのシンボルを選択することで、範囲選択が可能です。 ※ CTRL+C などの機能は使えません。



シンボルを指定でマウス左ボタンを押しながらドラッグ&ドロップをすること も可能です。

マウス左ボタンでのドラッグ&ドロップは「移動」となります。

マウス右ボタンでドラッグ&ドロップをすると、ドロップした時に下図のメ ニューが表示されますので、選択をすることができます。

| ここに複写 |
|-------|
| ここに移動 |
| 取消 |

複数ファイルを選択してドラッグ&ドロップを実行することはできません。 ドラッグ&ドロップはマウス左ボタンを押したときに、青枠で選択されている シンボルが対象となります。

図面文字列検索

検索条件にファイル名を追加しました。

検索条件にファイル名を追加しました。

検索するファイルの名前全体か、名前の一部を入力します。 ファイル名には「*」または「?」のワイルドカード文字を含めることができます。 「;」で区切ることで複数指定することができます。

| 為 図面文字列検索 ファイル(E) ヘルプ(H) | | |
|---|--|--|
| 探す文字列 「大 設定 詳細 探す場所 ファイルの種類 *hdb;*hde ファイル名 「 マッイル名 「 | 文字と小文字を区別する 、 *hdc:*hdd ・ 北/5も探す | |
| | サイズ 更新 | |
| 4 | | |



拡張設定に文字の太さを指定できる項目を追加しました。

「環境設定」「拡張設定」のメーカードライバの欄に「文字太さ」の選択項目が 追加されました。

| 拡張設定 | | × |
|---|----------------------------|-----------------|
| | 文字 | その他――― |
| ┌標準ドライバ――― | 「ブロット文字――― | HP-GL/2 |
| 近似半径 594.5000 | □ リアルモード、へ変換 | ☑ 拡張機能 |
| 分割角度 0.50000 | ─半角文字 | 線種分解 |
| オプション | □ 全角変換 | (HPGL/GPGL/MGL) |
| J_h_L"=Z\\" | 標準ドライバ | ロ ソフトウェア |
| - メーカート ノ1 /1 ································· | Polygon Point 400 | |
| ✓ 71979 ② +Er== (Am) | -メ-カ-ト"ライバ | ☑ 処理する |
| | 回転方向 ④ 順回転 | ーポートオープン(LPT)―― |
| -設定 | ○ 逆回転 | © Type 1 |
| ┌縮尺指定方法──── | 角度指定 | O Type 2 |
| ◎ 図面縮尺優先 | \odot -180° \sim +180° | - メ-カ-ド"ライハ" |
| ○ 用紙縮尺優先 | 0 0°~+300° | ▼ CADシステムで保存 |
| _デッドスペース― | 文字太さ © CADCity | |
| □ 使用する | • Windows | 0.00 秒 |
| | 図面 | |
| □自動拡縮する | 基点移動距離 | □ 出力する 詳細 |
| □ 線端を拡縮する | X 0.00 mm | |
| | Y 0.00 mm | |
| | | |
| UK 取消 | テカルト ヘルフ | |

CADCity / Windows より選択します。

CADCityを選択した場合、他のアプリケーションから出力するよも、通常文字 ならば若干細く、ボールドならば若干太く出図されます。

- Windows を選択した場合、他のアプリケーションで出力される文字の太さにより近い形で出図されます。
- ※ CAD で出図する場合、太い文字と通常文字の差別化のため太さ・細さをより 強調するように出図されます。
 - 但し、視覚的に大きく変化することはありません。

出図

2-6

DXF/DWG 入出力

変換条件設定ダイアログボックスを大幅に変更しました。

Ver8 入力 変換条件設定画面

| 要素属性変換表 |
|---|
| 全般 線種 寸法 色 レイヤー |
| 「注むつぶし処理設定 スプライン入力方法 初期値(2) 「注むつぶし処理設定 ネ定義の線種が入力されたら、警告BOXを表示する。 ● 線分補間 ○ B-27ライン 初期値(2) レイヤー名に「ZUWAKU」或いは、「図枠」があれば、 ● 線分補間 ○ B-27ライン ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ |
| 入力時の用紙、縮尺 0.50 以上-0.70未満 4 0.50mm - ○ 用紙サイズは既定値を使用、縮尺は目動設定する。 0.70 以上-1.00未満 5 0.70mm - ○ 用紙サイズ、縮尺とも既定値を使用する。 0.70 以上-1.40未満 6 1.00mm - 日紙サイズは自動設定、縮尺は既定値を使用する。 1.00 以上-1.40未満 6 1.00mm - 用紙サイズ A1検 ▼ 用紙検長 341.00 用紙縦長 594.00 縮尺 1/100 ▼ 図面検長 84100.00 図面縦長 5940.00 |
| テーブルの名称 Standard Table 💌 追加 削除 削除 |
| |

| Ver9 入力 | 要素属性変換表 |
|----------|--|
| 変換条件設定画面 | 全般 線種 寸法 色 レイヤー |
| | 「塗りつぶし処理設定 □ ブロックをシンボルに入力する。 マ 未定義の線種が入力されたら、警告BOXを表示する。 □ //ヤー名に「ZUWAKU」或いれ、「図枠」があれば、 図枠レイヤーに入力する。 本システムにないワオントの代替フォント DA ゴシック |
| | - データ読み込み設定 ○ カレント空間 ・ モデル空間 ・ レイヤー 「 要素を含まれてないレイヤーは読み込まない。 しイヤーを詰める) 「 非表示レイヤーを表示するように入力する。 ・ ブランクにする。 |
| | ○ 入力時の用紙、縮尺 文字情報処理設定 ○ 用紙サイズ、銀尺は50000 文字情報処理設定 ○ 用紙サイズ、縮尺とも既定値を使用する。 ○ ○ 用紙サイズ、縮尺とも既定値を使用する。 ○ ○ 用紙サイズ、縮尺とも既定値を使用する。 ○ ○ 用紙サイズ、10日 動設定、縮尺は既定値を使用する。 ○ 用紙横長 1189000 用紙縦長 1/1 図面横長 1189000 図面縦長 841.00 図面縦長 841.00 |
| | テーブルの名称 Standard Table 追加 削除 全初期値 完了 取消 保存 ヘルブ |



削除された項目 ポリラインを線幅に変更する設定 追加された項目 表題処理設定

文字情報処理設定 ブロック図形をシンボルに入力

色

| 色を自動変換するのチェック項目を追加 | Π | |
|--------------------|---|--|
|--------------------|---|--|



Ver8 出力 変換条件設定画面

| 要素属性変換表 全般 線種 線端 寸法 色 レイ゙ | p- | | | 2 |
|--|---|--|---|---|
| ◆秋福 緑端 寸法 色 レイ ● レ(ヤー名に漢字を使用する レ(ヤーのには要素を出力しないようにする。 ● レ(ヤーのには要素を出力しないようにする。 ● 要素があるレイヤーのみ出力する ● 要素があるレイヤーの要素のみ出力する → 数点以下の出力桁数0-16) ⑧ 文字位置合わせ ○ フィット CAゴシックフォントの txtshx | マー 図枠出力レイヤー の の 2UWAKU の の の の の の の の の の の の の | 線分: i 10-16(ホリライ) 線幅 DXF, 番号 ホリラ 0 線分 1 011 2 022 3 033 4 055 5 0.77 6 100 | 車続線の線幅 2 - ザ-設定): (乙変換する /DWG線幅 (乙略 番号 (LINE) 8 9 5 10 5 11 12 13 14 | 期間(12) ■号1-9 を DXF/DWG 本サライン幅 200 床定義 「1.00 「1.00 「1.00 「1.00 |
| ビッグ代替フォント bigfont.shx 👤 | AutoCAD R14 AutoCAD 2000 AutoCAD 2004 | 7 1.40 | 15 | 1.00 |
| Ţ | ーブルの名称 🛄 | _ | 追加 | 削除 |
| 全初期値 | 完了 取 | 消 | 保存 | ヘルプ |

| Ver9 出力 |
|----------|
| 変換条件設定画面 |

| 要素属性変換表 | | | | X |
|-------------------|---|--|---|--|
| 全般 線種 線端 寸法 色 レイヤ | 7- | | | |
| | 図枠出カレイヤー ○ 0 ○ ZUWAKU ○ 図枠 | 線分、連 10-15(- ボリライルに 線幅 DXF/D 番号 ホリライル 0 線分(L) 1 0.18 2 0.25 3 0.35 4 0.50 5 0.70 6 1.00 7 1.40 | 税の線設 一変換線番号 (NE) 8 9 10 11 12 13 14 15 | DAMIG(E) 書号1-9)を DXF/DWG 本リライン相 200 床定義 100 100 100 100 100 100 |
| ■ 線大さ表示モードをオンにする | C AutoCAD 2004 | | | |
| | -1'u o.⁄z ∜r <mark>Standard Ta</mark> t | | ≥tm 1 | BIRA |
| | | | 200 | R11P7F |
| | | 当 <u></u> | 存 | |

●拡張項目

要素の線幅は自動的に保持して入力または出力をします。 AutoCADのブロック図形を本システムのシンボルとして取込む機能を追加 しました。

出力時に寸法公差(ハメアイ公差を含む)寸法情報に付加します。 出力時、寸法文字は全てマルチテキスト属性として出力します。

| ◎ ファイル名をセットする。 |
|-----------------|
| ○ レイアウト名をセットする。 |
| ○ ブランクにする。 |

【表題処理設定】

ファイル名セットする

- ・DWG/DXFのファイル名を表題にセットします。
- レイアウト名をセットする
 - ・DWG/DXFのレイアウト名を表題にセットします。
- ブランクにする
 - ・表題に何もセットしません。(空欄の状態)

| ▼ 文字幅の小数点以下切る桁数。 |
|-------------------------------------|
| (mm, 0, 0, 0, mt) |
| 2 (範囲・0.95、四倍五八95) |
| ▼ 文字情報保持し、保存された情報で 出力する。(文字線幅含む) |

【文字情報処理設定】

文字幅の小数点以下切る桁数

 ・DWG/DXF 文字データを入力時、文字幅の縦横比の小数点以下数字は 計算値をセットするため、とても細かな数字になってしまいます。 (例えば、0.8999999999 など) これを防ぐために設定を設けました。
 0 から3までの数値をセットします。

文字情報を保持し、保存された情報で出力する

・本システムを起動しているパソコンにないフォントデータが入力された場合に、文字フォント名・文字幅・文字線幅を保存します。

【文字位置合わせ】

従来の文字位置合わせは「フィット」「左寄せ」からの選択でしたが、本バー ジョンでは「フィット」「基点保持」より選択をします。

基点保持は本システムに作図された文字基点のままで出力する機能です。 但し「先・末」は「左詰め・右詰め」に置き換わります。

【ポリライン変換の制御】

出力バージョンが AutoCAD2000 以上の場合、無条件に線幅情報を出力しま す。(設定する必要がないため、設定欄は入力できなくなる) 出力バージョンが AutoCADR14 以下の場合、従来通りの設定で出力されます。

□ 線太さ表示モードをオンにする

【AutoCAD 上の線太さ表示モード】

出力バージョンが AutoCAD2000 以上の場合、チェックマークの選択が可能 と なります。

チェックをオンにすると AutoCAD で開いた時に線幅とおりに表示されます。 チェックがオフの場合、AutoCAD で開いても線の太さは変わりません。

【線幅について】

出力バージョンが AutoCAD2000 以上の場合、無条件に線幅情報を出力しま す。(設定する必要がないため、設定欄は入力できなくなる) 出力バージョンが AutoCADR14 以下の場合、従来通りの設定で出力されます。

【色彩について】

要素色はAutoCADと同じ色を取込みます。 CADCityに存在しない色彩が読み込まれた場合は、自動的にユーザー定義 にその色彩を取込、同じ色を表示させます。

【文字について】

寸法文字は全てマルチテキストとして出力されます。

【寸法公差について】

寸法情報の公差値の文字列を認識します。

【一括出力について】

ファイルの拡張子は入力時の拡張子が小文字・大文字かによって、それに 従うようにします。

【モデル空間のブロックに従属している寸法属性について】 寸法属性を保持します。

【ブロック図形をシンボルとして取込む機能について】

入力するための条件は以下の通りです。

- ①モデル空間またはレイアウト空間でビューポート投影されていない ブロック図形
- ②元データが本システムに描かれたグループ図形ではない図形



3 — 1

交点間消去

交点間要素を連続にて保存できる機能を追加しました。

従来の動作も残すために、コマンドの先頭状態にて「マウス右クリック」 で単独 / 連続指定モードを切り替えます。

| 交点間消去 | 連続 | 要素を指定(右ボタン=単独) |
|-------|----|------------------|
| 交点間消去 | 単独 | 要素を指定(右ボタン=連続指定) |

連続指定の場合、BS キーにて直前指定要素を解除。

3 – 2

重複線消去

設定ダイアログボックスに「同一グループメンバを処理対象にする」のチェックボックスを 追加しました。



チェックをオフにすると、同一グループ内の重複線の処理を対象にしません。

延長短縮

線分長ボタンは線分要素のみの対象でしたが、円弧・楕円弧・スプラインも対象にするため、 CSBのボタン名称を「要素長」に変更。

| | | | \frown | | | | |
|------|-------------------|--------|----------|-------------|----------|------------|------|
| - 延短 | 1.標準 | 2. 基準線 | 3.線分長S | 0.0000 | ↓mm 4.堭 | 9分,0.0000 | ↓mm |
| 固前適 | 5.中心角J | 0.0000 | 1 0.增 | 分角K 0.0000 | ↓° | 7.トリミング | 8.設定 |
| | | | \frown | \Box | | | |
| - 延短 | 1.標準 | 2. 基準線 | 3.要素長 S | 0.0000 | ↓mm _4.増 | 10.0000 場合 | ↓mm |
| 固前適 |] <u>5</u> .中心角 J | 0.0000 | | 分角 K 0.0000 | ↓ ° | 7.内シケ | 8.設定 |

3-4

部分スタイル

部分スタイル変更の要素指定に、枠選択機能を追加しました。

従来の動作も残すために、コマンドの先頭状態にて「マウス右クリック」 で従来モード / 枠選択モードを切り替えます。



※枠選択の動作については切取複写 / 移動コマンドと同様です。

レイヤー名称・縮尺設定

3 - 5

レイヤー名称・縮尺設定

設定情報の書き込みファイルを変更しました。

従来の設定情報はシステムをインストールしたフォルダの¥sysinfo¥caduser. iniに書き込まれていましたが、本バージョンより、単独ファイルに保存する ように移行しました。

¥sysinfo¥caduser.ini → ¥sysinfo¥layerstyle.ini



戸

戸の種類に「折戸2枚/4枚(クロゼット)」を追加しました。

戸の種類に「折戸2枚/4枚」の形状を追加しました。



戸

階 段

新規コマンド

階段の作図機能を追加しました。

コマンドを選択すると下記 CSB が表示されます。

| - | 階段 | 1.直階段 2.折返階段 | 3.対称 | 4.実寸 | 5.階段矢印 | 6.破断線 | 7.U/D記号 | 8.基点 左. | E ↓ |
|---|----|-----------------|----------|-------|--------------|------------|----------|----------|-----|
| 固 | 前適 | 9.踏代 ┛ 200.0000 | ↓mm 0.段数 | 女 U 8 | ↓ 段 <u>A</u> | .階段幅 W 900 |).0000 I | mm 🛛 B設定 | |

1.直階段

ボタンをオンにすると直階段を作図します。



2.折返階段

ボタンをオンにすると折返階段を作図します。



3.対称

ボタンをオンにすると階段を対称に作図します。


5.階段矢印

ボタンをオンにすると階段矢印を作図します。



6.破断線

ボタンをオンにすると破断線を作図します。



7.U/D記号

ボタンをオンにすると UP/DOWN の文字列を作図します。 文字の作図位置は任意に指定します。





階段作図時の基点を選択します。



9.踏代 ┛ 200.0000 ↓mm

階段の踏み代を入力します。



0.段数 ∪ 8 ↓ 段

階段の段数を入力します。

A階段幅 W 900.0000 ↓mm

階段の段数を入力します。



B設定

階段作図のための各種設定を行います。 設定ボタンをクリックすると下記のダイアログボックスが表示されます。

| ■ コーナーの授差(A) |
|---------------------------------|
| ☑ 踊り場の段差(B) A ▲ ▲ |
| 手摺と階段の差(D) 0 mm |
| 踊り場の幅(X) 900 mm 1000 m m |
| 踊り場の幅(Y) 900 mm |
| 手摺の幅(T) 100 mm |
| |
| |
| ☑ 階段線幅 0.13mm ———— |
| 階段矢印線 |
| ☑ 午印の長さ(H) 3 mm(P) ○ |
| |
| |
| ▼開始点丸の直径(C) 1 mm(P) |
| ✓ 矢印線色 003 √ 矢印線幅 0.13mm |
| |
| |
| 破断線の角度(K) 15 * |
| ▼ 破断線作図位置 3 段 |
| ☑ 碳肪線色 014 |
| ✓ 破断線幅 0.13mm ———— |
| |
| |
| |
| - 元子 - 収消 - ヘルブ |

| □ コーナーの段差(| A) | | |
|--------------|--------|----|-----|
| □ 踊り場の段差(B) | | | B A |
| 手摺と階段の差(D) | 0 | mm | |
| 踊り場の幅(X) | 900 | mm | |
| 踊り場の幅(Y) | 900 | mm | |
| 手摺の幅(T) | 100 | mm | |
| ▶ 階段線色 003 | | | T. |
| ☑ 階段線幅 0.13m | nm ——— | - | |

コーナーの段差はサンプルプレビューの「A」の線を示します。 踊り場の段差はサンプルプレビューの「B」の線を示します。

階段線色

チェックオンの場合:指定した色彩で作図されます。

チェックオフの場合:右パネルの色彩を参照して作図されます。 階段線幅

チェックオンの場合:指定した線幅で作図されます。

チェックオフの場合:右パネルの線幅を参照して作図されます。

【階段矢印】

| ▼ 矢印の長さ(H) | 3 mm(P) | Å | 0/\ |
|--------------|---------|--------|---------------|
| 矢印の角度(G) | 15 * | þ. | \rightarrow |
| ☑ 開始点丸の直径(0) | 1 mm(P) | | |
| ☑ 矢印線色 003 ■ | | ☑ 矢印線幅 | 0.13mm |

矢印の長さ

チェックオンの場合:指定した形状の矢印を作図します。 チェックオフの場合:矢印の線端形状を作図しません。

·).

矢印の長さおよび開始点丸の入力値はプロットモードです。

矢印線色

チェックオンの場合:指定した色彩で矢印を作図されます。 チェックオフの場合:右パネル線色を参照して作図されます。

矢印線幅

チェックオンの場合:指定した線幅で矢印が作図されます。 チェックオフの場合:右パネルの線幅を参照して作図されます。 【破断線】

| 破断線の長さ(E) | 3 mm(P) | |
|---------------|-------------|-------|
| 破断線の角度(K) | 15 | E |
| 🔽 破断線作図位置 | 3 段 | h h h |
| ☑ 破断線色 014 📕 | | TR |
| ✔ 破断線幅 0.13mm | · | |

破断線の長さ

「E」部分を指定した長さで作図します。



破断線の長さおよび開始点丸の入力値はプロットモードです。

破断線角度

破断線の角度を指定します。



破断線の角度は5°以上30°以下の制限があります。 制限外の数値を入力した場合は、下図のメッセージが表示されます。

| 破断線の | 角度 🛛 🗙 | |
|------|-------------------------|--|
| ⚠ | 5 から 30 までの数字を入力してください。 | |
| | <u>OK</u> | |

破断線の作図位置

破断線の作図位置を指定します。

チェックをオフにした場合、自動的に下から4段目に作図されます。 CSBで入力した段数の数値によりますが、作図不可能な段数が指定される と下図のメッセージが表示されます。

| 破断線作國 | 図位置 | × |
|-------|------------------|------|
| | 2から6までの数字を入力してくだ | č(າ₀ |
| | ОК | |

破断線色

チェックオンの場合:指定した色彩で作図されます。

チェックオフの場合:右パネルの線色を参照して作図されます。

破断線幅

チェックオンの場合:指定した線幅で作図されます。

チェックオフの場合;右パネルの線幅を参照して作図されます。

| UPの文字 | 列 UP | |
|-------|------|--|
| | | |

DOWNの文字列 DW

UP/DOWN の文字列を入力します。

□ 階段線削除

階段線を削除する場合にチェックをつけます。



□ 階段の枠線を作成しない

階段枠線を作図しないときにチェックをつけます。





操作方法はオンラインヘルプの「建築 / 記号・定型 / 階段」を参照してください。

インサート1



| 9.ビッチ1 🚽 | ŋ | 200.0000 | Ļ | mm |
|-----------------|---|----------|---|----|
| <u>0.ビッチ2</u> 5 | | 200.0000 | Ļ | mm |

シンボルに記号を配置する場合は、シンボルの配置原点から記号までの距 離、また、配管に配置する場合は配管からの距離を指定します。





A設定

インサート記号の作図時及び変更時のスタイル設定を行います。

| インサート設定 | × |
|--|---|
| インサート作図 形状変更 インサート記号の倍率 100 ┌ 要素属性制御 | (ä |
| 色 〇 シンボル 〇 シン | ステム 〇指定 001 |
| 線 種 ○ シンボル ● シ | |
| 線 幅 ○ シンボル ● シ | インサート設定 |
| レイヤーロシンボル ④ シ | インサート作図形状変更 |
| ■ 指定した基準線角度が「 90° < | インサート記号の倍率 1000 倍 - 要素属性制御 |
| | 色 🔿 保持 🔿 システム 💿 指定 😡 🚺 👘 👘 |
| <u></u> | 線種 ○保持 ○システム ○指定 1 |
| | 線 幅 C 保持 C システム C 指定 0 0.13mm |
| | レイヤ ⓒ 保持 ○ システム ○ 指定 2 B 1 L |
| | ▼ 指定した基準線角度が [90° <指定角度<=270°]場合、補正する |
| | 取消 ヘルプ |

◆自由配置 CSB ◆

| - | 自由 | 1.複数 | 2.基準線 | 3.米間 | iii病 』 500.0000 | ↓ mm | 4.Y唱 | 鄂鬲 S 50 | 00.0000 | Ļ | mm |
|---|----|---------|-------|------|-----------------|--------------|------|---------|---------|---|------|
| 固 | 前適 | 5.X個数 U | 3 ↓ | 個 | 6.Y個数 ∪ 3 | \downarrow | 個 | 7.基点 | 左上 | Ļ | 8.戻る |

インサート CSB の【自由】を選択すると上記 CSB が表示されます。

1.複数

オンの場合個数及び間隔を指定し、複数個を一括で作図することができます。 オフの場合単独で1つの記号を作図します。 このボタンがオフの場合、戻るボタン以外は全てグレー表示となります。

2.基準線

ボタンをクリックすると、基準線を指定のメッセージが表示されます。 任意の要素を指定すると、その指定した要素の角度で複数個のインサート記号 が配置されます。



| 3.×間隔 | J. | 500.0000 | Ļ | mm |
|-------|----|----------|---|----|
| 4.丫間隔 | s | 500.0000 | Ļ | mm |

複数を一括で作図するときのX方向及びY方向の間隔を指定します。

| 5.×個数 | U | 3 | Ļ | 個 |
|-------|---|---|---|---|
| 6.Y個数 | U | 3 | Ţ | 個 |

複数を一括で作図するときのX方向及びY方向の個数を指定します。

7.基点 左上 ↓

複数を一括で作図するときの配置基点をプルダウンより選択します。



8.戻る

◆範囲一括 CSB ◆

| □ 範囲一括 1 | 1.操作 | 仮想線 ↓ | _2.中条件 | 3.基点 | 中央 | ↓ 4.₫¢ | 置点 |
|----------|--------|------------|-----------------|-------|----------|--------|------|
| 固前適 | 5.×間隔, | J 100.0000 | ↓mm <u>6</u> .\ | ′間隔 ៜ | 200.0000 | ↓mm | 7.戻る |

1.操作 標 準 ↓

範囲の指定方法をプルダウンより選択します。

```
2.中条件
```

1. 操作で「中指定」を選択した時にこのボタンがオンになります。 マウス左ボタンでクリックすると下図の中指定条件設定ダイアログボックスが 表示されます。



3.基点 中央 ↓

指定範囲に作図するインサート記号を中央から配置するか、中央で振り分ける かを選択します。

4.配置点

インサート記号の配置基点を任意に指定することができます。

| 5.×『磵陽 | Ļ | 100.0000 | Ļ | mm |
|--------|---|----------|---|----|
| 6.Y間隔 | S | 200.0000 | Ļ | mm |

作図するインサート記号のX方向およびY方向の間隔を指定します。

7.戻る |

インサート CSB に戻ります。



操作方法はオンラインヘルプの「建築 / 記号・定型 / インサート」を参照して ください。





SY属性表示

作表機能を追加しました。



設定ボタンを左クリックすると設定ダイアログボックスが表示されます。

| 表 | 示属性設定欄 | | | x |
|---|-----------|----------|---------|---|
| | -作表条件 | | | |
| | 名称部の表示 | ● 有り\) | ○ 無し(N) | |
| | ▼ シンボル名称 | V | 第3属性 | |
| | 🗖 シンボルコード | | 第4属性 | |
| | 🔽 シンボル高さ | | 第5属性 | |
| | ☑ 第1属性 | | 第6属性 | |
| | ☑ 第2属性 | | | |
| | -文字間隔 | | | |
| | 文字の間隔(円) | 1.0 | ▼ 倍 | |
| | 完了 | 取消 | ヘルプ | |

名称部の表示:有り・無しより選択できます。 表の文字の間隔を設定できます。

| 名》 | 名称部有り | | | | |
|--------|-------------|--|--|--|--|
| シンボル名称 | 検知器(ガス漏れ警報) | | | | |
| シンポル高さ | 2500 | | | | |
| 第1篇性 | 123 | | | | |
| 第2篇性 | 456 | | | | |
| 第3篇性 | | | | | |
| 第4篇性 | | | | | |
| 第5篇性 | | | | | |
| 常の責任 | | | | | |

名称部無し

| 検知器(ガス漏れ蓄観) |
|-------------|
| 2500 |
| 123 |
| 450 |
| |
| |
| |
| |

情報出力1

5 – 2

情報出力

シンボルと配線が接続されている場合、シンボルの高さと配線の高さを自動認識して集計する機能を追加しました。

| | 情報 | 出力 | 1.出力条件 | 2.SY高さ | 3.集計結果 | 4. | 影 | 5.7ァイル合成 |
|---|----|----|--------|-----------|--------|-------|--------|----------|
| E | 前 | 適 | 6.枠基準 | 7.枠角度 K (|).0000 |] ° [| - 8.設) | 定 |

CSB に「2. SY 高さ」ボタンが追加されました。 「2. SY 高さ」ボタンをオンにすると、自動認識する機能が有効となります。 ボタンがオフの場合は従来通りです。

「2.SY 高さ」ボタンをマウス右ボタンをクリックすると、下図のダイアログボッ クスが表示されます。

| 施工 | 高ざ設定 | | | × |
|----|-----------|-------|--------|---|
| | 線種 | 名 | 施工高さ | |
| | 0.実線 | | 2700 💌 | |
| | 1.細破線 | | 2700 💌 | |
| | 2.中破線 | | 0 🔹 | |
| | 3.長破線 | | 0 🔹 | |
| | 4.疎破線 | | 0 💌 | |
| | 5.一点鎖線 | | 0 💌 | |
| | 6.長一点鎖線 | | 0 💌 | |
| | 7.二点鎖線 | | 0 💌 | |
| | 8.長二点鎖線 | | 0 💌 | |
| | 9.長三点鎖線 | | 0 💌 | |
| | 10.短一点鎖線 | | 0 💌 | |
| | 11.短一点二鎖線 | | 0 💌 | |
| | 12.短二点鎖線 | | 0 💌 | |
| | 13.短二点二鎖線 | | 0 💌 | |
| | 14.短三点鎖線 | | 0 💌 | |
| | 15.補助線 | | 0 🔹 | |
| | □ ユーザ定義 | | | |
| | | 完了 取消 | | |

この画面で線種ごとの配線の高さを入力・設定します。

下図のように作図した場合





情報出力コマンドを選択し、CSB を下図のように設定します。

| - 情報出力 | 1.出力条件 | 2.SY高さ | 3.集計結果 | 4.開く | 5.ファイル合成 |
|--------|--------|-----------|--------|------|----------|
| 固前適 | 6.枠基準 | 7.枠角度 K C |).0000 | 8.設 | 定 |

「2.SY 高さ」ボタンを右クリックし、5. 一点鎖線に 2700 と入力し、完了します。

| 施工 | 高さ設定 | | | × |
|----|-----------|-------|--------|-----|
| | 線種 | 名 | 施工高さ | |
| | 0.実線 | | 2700 💌 |] |
| | 1.糸囲破線 | | 2700 💌 |] |
| | 2.中破線 | | 0 💌 |] |
| | 3.長破線 | | 0 | 1 |
| | 4.疎破線 | | 0 - | 1 |
| | 5.一点鎖線 | | 2700 💌 |] |
| | 6.長一点鎖線 | | 0 - | I I |
| | 7.二点鎖線 | | 0 💌 | 1 |
| | 8.長二点鎖線 | · | 0 - | I I |
| | 9.長三点鎖線 | | 0 - | 1 |
| | 10.短一点鎖線 | | 0 💌 | 1 |
| | 11.短一点二鎖線 | | 0 - | 1 |
| | 12.短二点鎖線 | | 0 💌 | 1 |
| | 13.短二点二鎖線 | | 0 - | I I |
| | 14.短三点鎖線 | | 0 - | I |
| | 15.補助線 | | 0 - | 1 |
| | 「 ユーザ定義 | | | |
| | | 完了 取消 | | |
| | | | | |

作図した配線とシンボルを選択します。

「2.SY 高さ」ボタンがオフの場合(従来通り)

| 工事項目 | 材料名称 | 仕様 | 施工区分 | 合計値 |
|--------------|-----------------|----|------|-------|
| 電灯・コンセント設備工事 | 埋込コンセント(フルカラーP) | | | 2.00 |
| 電灯・コンセント設備工事 | ねじなし電線管 EP | | | 1.98 |
| 電灯・コンセント設備工事 | 600¥ピニル絶縁電線 ¥ | | | 4, 96 |

「2.SY 高さ」ボタンがオンの場合

| 工事項目 | 材料名称 | 仕様 | 施工区分 | 合計値 |
|--------------|-----------------|----|------|-------|
| 電灯・コンセント設備工事 | 埋込コンセント(フルカテーP) | | | 2.00 |
| 電灯・コンセント設備工事 | ねじなし電線管 EP | | | 6, 78 |
| 電灯・コンセント設備工事 | 600Yビニル絶縁電線 IY | | | 14.56 |

シンボルの高さが +300mm、配線の高さが +2700mm なので、高さ部分にあたる距離は 2400mm × 2 = 4800mm です。

上の表のように「2.SY 高さ」ボタンをオンにして集計をすると、実際の長さに 高さ分を足した数値が表示されます。(上図の場合 1.98+4.8 = 6.78)

(※ IV1.6×2(E19)を付加したのでビニル管の場合は2400mm×4=9600mmです)

5-3

情報表示

情報表示コマンドを起動すると下記の CSB が表示されるようになりました。 シンボルと配線が接続されている場合、シンボルの高さと配線の高さを自動認識して表示し ます。また、設定ダイアログボックスでは計測モードの選択が可能です。

| - 情報表示 | 1.SY高さ |
|--------|--------|
| 固前適 | 2.設定 |

1.SY高さ

「1. SY 高さ」ボタンをオンにすると、配線に接続されたシンボルの高さを自動 認識する機能が有効となります。 ボタンがオフの場合は従来通りです。

また本ボタンをマウス右ボタンでクリックすると下記のダイアログボックスが 表示されます。

この画面で線種ごとの配線の高さを入力・設定します。

| 包上向で設定 | | | |
|-----------|------|------|----|
| 線和 | 絕 | 施工品 | あさ |
| 0.実線 | | 2700 | • |
| 1.新田和皮線 | | 2700 | • |
| 2.中破線 | | 0 | • |
| 3.長破線 | | 0 | • |
| 4.硬破線 | | 0 | • |
| 5.一点鎖線 | | 0 | • |
| 6.長一点鎖線 | | 0 | • |
| 7.二点鎖線 | | 0 | • |
| 8.長二点鎖線 | | 0 | - |
| 9.長三点鎖線 | | 0 | • |
| 10.短一点鎖線 | | 0 | • |
| 11.短一点二鎖線 | | 0 | • |
| 12短二点鎖線 | | 0 | • |
| 13.短二点二鎖線 | | 0 | - |
| 14.短三点鎖線 | | 0 | - |
| 15.補助線 | | 0 | • |
| □ ユーザ定義 | | | |
| | 完了 取 | 肖 [| |

2.設定

マウス左ボタンでクリックすると計測モードを選択する下記のダイアログボッ クスが表示されます。

| 洲・作表傘件 - 計測モード | | × |
|-----------------------------|-----------------|---------|
| 全ての線種を要 | 『素上で計測 | I |
| ○ 実線・長破線を | 最短距離では | 计测 |
| - 作表条件 | | |
| 罫線の作図 | ⑥ 有リ | O III. |
| 情報名称の順 | € 昇順 | C FAILE |
| 文字の間隔(日) | 1.3 | ▼ 倍 |
| 表行数位 | 40 | 💌 行 |
| 実数量小数点桁 | 女(<u>M</u>) 0 | ÷ |
| 元了 | 取消 | ヘルゴ |





同心円を作図後に検出を開放せず連続で作図できるように改造しました。

1. 同心円モード通過点指定連続

Ver8.00までは[3. 同心円]0N、[6. 間隔]0FFの際、同心円を作成したい円・円弧を指定し、 通過点を指定すると、同心円を作成したい円・円弧の検出が開放されていました。 Ver9.00よりマウス右クリック(キャンセル)、ESCキーが入らない限り、連続にて同心円を生 成可能にしました。



※[通過点]が 0FF の場合に有効とします。[0. 半径][A 直径] が 0N の場合は機能拡張の対象となりません。[9. 個数]は有効とします。

 同心円モードで円弧を指定した場合にオフセット円弧を作図設定 円コマンド設定にて「同心円にて円弧要素を指定した場合、オフセット円弧を作図」が ON の場合、 同心円モードの時、基準要素として円弧を指定したら、円弧オフセットを作図します。 OFF の場合は従来通り円で作図。



※[6. 間隔]([9. 個数])[0. 半径][A 直径]が ON の場合も対象とします。

円

丸面

面取りした要素を面取りの対象とする設定を追加しました。

設定ダイアログボックスにチェックボックスを追加しました。



B スプライン円弧補間

6 - 3

B スプライン円弧補間

新規コマンド

Bスプラインを円弧要素に変換する機能を追加しました。

B スプラインはそのままでは修正ができないために、円弧要素に変換して修正を可能にします。

| 0 | 円弧補 | 1.分割数 🚚 | 8 ↓ | | |
|---|-----|---------|---------------|--------|------|
| E | 前適 | 2.許容値 S | 0.100000000 👃 | 3.グループ | 4.実行 |

コマンドを選択すると枠選択 CSB が表示されます。 B スプライン要素を選択すると上記 CSB が表示されます。

スプラインの分割数や許容値を入力し「実行」ボタンをクリックします。

丸面

角度寸法1

6 – 4

角度寸法

寸法値を度分秒で表示する時、度・分・秒の四捨五入をするように拡張しました。

 単位のコンボボックスに表示単位を"度分秒"ではない場合、拡張した四捨五 入表示を使わないように網掛けにする。



② 単位コンボボックスの表示単位が"度分秒"であれば、拡張した四捨五入表示 部分は選択が可能となる。但し"度分秒の場合、小数点以下桁数を無視し、四 捨五入を再セットする。"チェックボタンがオフであれば、従来通りと同じ方 法で四捨五入する。



③ 四捨五入方法を使用することで、チェックボックスがオンであれば"角度四捨 五入"コンボボックスは選択可能となり、従来の"小数点以下数"コンボボッ クスは網掛けとなる。



- ④ 角度四捨五入の説明
 "度"・"分"・"秒"の三つの種類中、どれか一つを寸法値の四捨五入で使う。
 区切りは30とする。
 - M 1 4 9 0 C 9 00

| レイヤー① | <u> </u> | □ [1 L | 🔽 ቲከሣን心ス(2) |
|--------|----------|-----------|-------------|
| 単 位Φ | 度分秒 | ▶ 角度四指 | 插入 <u>,</u> |
| ▶ 度分秒の | 3場合、小数点以 | 下桁数を無視し、四 | 」捨五、度 |

- a. "度"が選択された場合:
 "分"の数字が30以上であれば、"度"の寸法値に+1を足し、"分"の寸法値は0に入れる。
 例:計測寸法値が 35°42′→ 36°で寸法値を表示する。
 計測寸法値が 35°24′→ 35°で寸法値を表示する。
- b. "分"が選択された場合:
 "秒"の数字が30以上であれば、"分"の寸法値に+1を足し、"秒"の寸法値は0に入れる。
 例:計測寸法値が 35°42′30″→ 35°43′で寸法値を表示する。
 計測寸法値が 35°42′29′→ 35°42′で寸法値を表示する。
 計測寸法値が 35°59′30′→ 36°で寸法値を表示する。
- c. "秒"が選択された場合:
 現在、単位コンボボックスに"度分秒"が選択された場合と同じ。
- ⑤ その他は、従来と同一である。



基準寸法

新規コマンド

基準点から終点までの寸法を追いながら連続で記入するコマンドを追加



1.引出線 H 0.00000000 ↓ mm

基準線から寸法値までを結ぶ引出線を作図します。初期値はオフです。 通常はオンに設定します。引出線の長さも指定できます。

2.長さ 』0.00000000 ↓mm

引出線の長さを設定することができます。長さとは第二点目以降の引き出 し線の長さをいいます。 初期値はオフです。

3.前回位置。

前回位置は、寸法位置を前回指定した位置に自動的に指定する機能です。 「1. 引出線」ボタンをオフにし、自由な①にその都度寸法位置を指定して いる場合、「3. 前回位置」ボタンをオンにすることにより、前回と同じ位 置に寸法を作図します。

4.基準値

基準値は、基準寸法の元となる0点を任意の数値に置き換え、そこから累 進することができます。

5.手 動

基準寸法の文字列を、記入する前に編集することができます。 詳細操作は「平行寸法」の手動モードを参照してください。

6.設定

設定は寸法線を作図する際の各種属性を指定するモードです。

| 基準寸法設定 | x |
|--|------------|
| 共通 共通拡張 引出線側 引出線上 文字関連 スタ(ル 冬(S) レ) 「 | |
| | |
| ↓ 1 2 0 10 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 | ⊡ |
| 「林関連 寸法線色(A) ▼ □ 寸法線端(B) □ 引出線色(C) ▼ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | |
| その他 単 位⊈ mm ▼ 寸倍率® 1 レイヤー① ▼ 2 B □ 1 L ▼ ゼロサフ℃ | - /7(2) |
| | (ルプ |

原則として各寸法コマンド共通で他の寸法コマンドに連動します。

7.公差 (無し)↓

基準寸法も文字列に交差を付加することができます。

8.寸法値

基準寸法の文字列を記入する前に編集することができます。 初期値はオフです。

↓

9.角度 K 0.00000000 ↓ °

寸法値の角度を設定することができます。 初期値はオフです。

0.寸倍率 W 1.00000000 ↓

寸倍率(寸法倍率)とは寸法記入時に倍率を変更し寸法値を記入するモー ドです。初期値は「1」です。

A寸法変更

作図した形状寸法を変更するときにします。 このボタンをクリックすると寸法変更コマンドにジャンプします。 6-6

基準寸法2

新規コマンド

基準寸法とは別に、基準点・引出線指定で寸法を追いながら連続で記入するコマンドです。



引出線の長さを設定することができます。 長さとは、第二点目以降の引出線の長さをいいます。

初期値はオフです。

2.基準値

基準値は基準寸法のもととなる0点を任意の数値に置き換え、そこから累 進することができます。

3.手 動

基準寸法の文字列を記入する前に編集することができます。

4.公差 (無し)

基準寸法の文字列に交差を付加することができます。

5.設定

設定は寸法線を作図する際の各種属性を指定するモードです。

| 基準寸法設定 🔰 |
|--|
| 共通 詳細設定 引出線側 引出線上 ドッグレッグ |
| |
| 文字高(出) ▼ 5.00 ▼ 桁記号(1) 無し ▼ |
| 文字色(2) ▼ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● |
| □ イジック型 □ ボールド(B) 小数点以下数(U) 2 ▼ |
| 線関連 |
| 寸法線色(A) ▼ 寸法線端(B) |
| 引出線色© ▼ |
| その他 |
| 単 位 Ø mm 寸倍率 (B) 1 |
| レイヤー(1) 🔽 2 B 🔽 1 L 🔽 ゼロサフジス(2) |
| |

6.寸法値

基準寸法の文字列を、記入するまえに編集することができます。

↓↓

7.要素検出

「7. 要素検出」ボタンをオンにして要素を選択すると、その要素の端点を 自動的に検出します。

8.向ぎ反転

「8. 向き反転」ボタンをオンにすると引出線のXYの向きを反転することができます。CSBの[1. 長さ]を固定した場合に有効になります。

9.高さ参照

「9. 高さ参照」をオン他の引出線と文字位置を揃えることができます。 前回高さ位置に設定している場合は使用できません。

0.寸倍率 W 1.00000000 🗍

寸倍率(寸法倍率)とは寸法記入時に倍率を変更し寸法値を記入するモー ドです。初期値は「1」です。

さらに常用公差をつけたプロパティシート形に拡張しました。

| | 公差 | 1./\メアイ公差 | 2.常用公差 | 3.角度常用 |)4.変更 | 5.削除 |
|---|----|-----------|---------|--------|-------|------|
| E | 前適 | 6.センタリング | 7.データ確認 | 8.設定 |] | |

公差ダイアログボックスの拡張

| 公差設定 | × |
|--|---|
| 軸用公差 穴用公差 常用公差 | |
| パ\次アイ記号 日10 C9 C10 D8 D9 D10 E7 E8 E9 F6 F6 G6 G7 H5 ▼ 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 」 「 」 」 」 」 | 35.94 F7 +0050 → 「作成時に/\メアイ記号を付加する。 → 上線 +0.050 → 下線 +0.025 → 一列表記で公達を作成する。 |
| 完了 | 取消 ヘルプ |

| 上段下 +0.1°-0 +0.1° ±0.1° ±0.1° | f段 1.1* 1.1* | 100 | |
|---|--------------------|--|--------------------|
| ± + 0.1° | | | |
| | 0.1* | 角度記号付加 の* の* 上段 下段 | C″ □±付加 □±付加 |
| | 一 一 | 一列表記で公差 追加 削除 100 % | だ作成する 挿入 変更 |

各項目にチェックをつけることで、寸法の形状に関わらず接頭の記号を作 図しないモードになります。 6 - 8

均等割付

配置された文字列を中央に揃えたり、文字長さを均等にする機能です。



1.文字幅

選択した文字列を指定した文字列と同じ長さに割付けます。

CADCity タナックシステム株式会社 CADCityシーケンス CADCity タナックシステム株式会社 CADCityシーケンス C A D C i t y タナックシステム株式会社 CADCityシーケンス

2.均等範囲

選択した文字列を指定した位置に均等に割付けます。 このボタンがオンの場合、「水平・垂直・自由・マージン・センタリング」 のボタンと組み合わせて使用することができます。

【水平の場合】

CADCity タナックシステム株式会社 CADCityシーケンス C A D C i t y タナックシステム株式会社 CADCityシーケンス

【垂直の場合】

CADCity タナックシステム株式会社 CADCityシーケンス し C A D C i t y タナックシステム株式会社 CADCityシーケンス

【水平の場合】

水平の場合選択した文字列の基点を中心に変更し、基点を中心に揃えて割 付けます。

CADCity

タナックシステム株式会社

CADCity タナックシステム株式会社

CADCityシーケンス

CADCityシーケンス

【垂直の場合】

垂直の場合選択した文字列を配置基点を基点に垂直方向に移動します。

CADCity

タナックシステム株式会社

CADCityシーケンス

Л

CADCityシーケンス CADCity タナックシステム株式会社

4.水平

3.中心移動

範囲一括及び中心移動ボタンと組み合わせて使用します。 このボタンがオンの場合、選択した文字列全て水平方向に移動し、それぞ れの割付けを実行します。 文字列を選択すると、水平のラバーが表示されます。

5.垂直 範囲一括及び中心移動ボタンと組み合わせて使用します。 このボタンがオンの場合、選択した文字列全て垂直方向に移動し、それぞ

6.自由

れの割付けを実行します。 文字列を選択すると、垂直のラバーが表示されます。 範囲一括及び中心移動ボタンと組み合わせて使用します。 このボタンがオンの場合、選択した文字列を自由な位置に移動して割付け を実行します。

また、このボタンと範囲一括ボタンがオンの場合、センタリングボタンの 選択が可能となります。

7.マージン J 0.0000 ↓ mm

範囲一括ボタンがオンの時にマージンを設定することができます。





操作方法はオンラインヘルプの「作図 / 文字編集 / 均等割付」を参照してくだ さい。





図枠呼出

図枠情報設定がされている図枠を呼び出した時に、図枠反映をするかしないかの確認ダイア ログボックスを表示するようにしました。

> 図枠情報設定がされている図枠を呼出すと下図の確認メッセージが表示されま す。

| 図枠反映 | × |
|--------------|-----------------|
| 現在の図枠の所定位置に、 | この図面属性を作図しますか? |
| (| いいえ(<u>N</u>) |

「はい」を選択すると図枠反映を行います。 「いいえ」を選択すると図枠反映を行いません。

隠線再計算



隠線再計算

複写や変形コマンド等で内部的に自動的に行っていた隠線再計算を抑制する設定を追加しま した。

| | × |
|------|----------------------------|
| をする | |
| をしない | |
| | |
| 完了 | 取消 |
| | <u>をする</u> をしない 一 完了 |

「〇隠線の自動的な再計算をする」 初期値:オン 複写や変形コマンド等で、必要に応じて隠線再計算を行います。

 ○ 隠線の自動的な再計算をしない」 初期値:オフ 複写や変形コマンド等での隠線再計算を行いません」
 隠線情報が計算されないため表示が正しくなくなるケースがあります。

[直ちに再計算]クリックすると直ちに隠線再計算を行ないます。

計測コマンド全般

文字化をするときに文字ボックスを表示します。 また、文字の図タイルを設定できる機能も追加しました。

> ①文字化ボタンをクリックして配置するときに、文字ボックスを表示するよう に変更しました。

> ②文字化ボタンをマウス右ボタンでクリックすると、下図の文字設定ダイアロ グボックスが表示され、任意のスタイルを設定できるようになりました。



基点位置のプルダウンの↓をマウス右クリックすると文字基点設定ダイアロ グボックスが表示されます。



7 – 4

距離計測

縮尺チェック・最短距離計測などの改造をしました。

「縮尺 CHK」ボタンがオンの時、従来はメッセージが表示され、カレントの入力 レイヤーで計測しました。

これを、その要素のレイヤー縮尺で計測するように変更しました。

合わせて、入力レイヤーをその要素のレイヤーに変更するように改造しました。

メッセージも以下のように変更しました。

| 検出エラー | X |
|---|-----------------------------------|
| 指定した要素のレイヤー縮尺は、 指定した要素の縮尺で計測しま (はいの時、入力レイヤーを自動? | 入力レイヤーの縮尺と異なります。 すか? 変更します) |
| (| いいえ(<u>N</u>) |

「要素指定」をオンに設定し、線分と円の組み合わせで指定した場合、最短距 離を計測する機能を追加しました。

従来の計測機能もあるので、最短距離を表示した後に「Y/N」で確認し、従来のパターンで距離を表示します。

7 — 5

システム設定 / 全般 2

図面切替モード設定に「アクティブウィンドウ切替モード」を追加しました。

アクティブウィンドウ切替モードは、複数図面を開いていた場合に、図面の位 置や表示しているウィンドウはそのままで、単純にアクティブモードを切り替 える設定です。

アクティブな状態の図面のタイトルバーが青く(OSの設定に依存)表示されるので、この青色状態が切り替わるモードです。

| システム設定 🛛 🔀 |
|--|
| 線スタイル 文字スタイル SXF線端 入出力フォルシ キー定義 マウスアウッュン 標準図面 出図範囲 環境設定 ユーザー定義 バインダー 寸法 全 般 1 全 般 2 自動パッファプ 表 示 色 彩 検 出 カーソル |
| モート設定 |
| ○ CADCity ● SXF ○ SXF詳細表示 ○ 図面切り替えモード ○ ウィルウ切り替えモード |
| ぼう そうちょう アクティフ ウィント ウ 切り替え モート ジー・ 「 アクティフ ウィント ウ 切り替え モート ジー・ |
| ▶ アンドッド業領域を設定する 領域サイズ 2000 中小小小 |
| ▶ アイコンガイトを表示する 表示までの時間 400 ジ秒 |
| ☑ 右バネルがイドを表示する |
| 図面許容誤差 |
| 現在の図面: 長ざ誤差 0.001 mm 角度誤差 0.1 度 |
| システム: 長さ誤差 0.001 mm 角度誤差 0.001 度 |
| 図面読み込み時の異常要素の扱い ファイルを開く・保存時の試行回数 |
| ⑥ 修復しない ● 修復する 10 回 (1 ~ 10) |
| 原点 |
| □ 直前原点を使用しない □ 第一原点を用紙左下に固定 |
| 完了 取消 道用(<u>A</u>) ヘルブ |

システム設定 / 検出

検出項目に「拡張設定」「検出音設定」のボタンを追加しました。

| システム設定 | × |
|--|--|
| 線スタイル 文字スタイル SXF線端 標準図面 出図範囲 環境設 全般1 全般2 自動パッグアップ。 | 入出力フォルシ キー定義 マウスアウション 定 ユーザー定義 バインダー 寸法 表示 色 彩 検 出 カーソル |
| 772検出範囲 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 自動ルーペ* 検出点(端交点、円、文字等) 要素(川泉、図形抽出等) 要素ガス* 10 レペサイス* 200 レペサイス* 200 レペサイス* 200 レペサイス* 200 レペサレ(100×400) ルーペサイス* 200 レペサセル(100×400) ルーペサイス* 200 レーペサセル(100×400) ルーペサイス* 200 レーペサセル(100×400) ルーペサロン(100×400) ルーペサロン(100×400) ルーペサロン(100×400) ルーペサロン(100×400) ルーペサロン(100×400) ルーペサロン(100×400) ルーペサロン(100×400) ルーペサロン(100×400) レーペサロン(100×400) レーペサロン(100×400) <t< td=""></t<> |
| 原点: ●第1原点 ○第2原点 ○画面中央 ▼ 図面を聞いたとき以前の設定を有効にする | 拡張設定 検出音設定 |
| | 了 取消 道用(益) ヘルプ |

拡張設定

「拡張設定」ボタンをクリックすると下記のダイアログボックスが表示されます。

| 検出拡張設定 🛛 🛛 🗙 |
|------------------------|
| ▶ 中点検出(タイナミックハイライト時) |
| ☑ 中心点検出(円・円弧・楕円・楕円弧) |
| 🥅 要素上点検出(ダイナミックハイライト時) |
| ▶ 接点検出(ダイナミックハイライト時) |
| ▶ 重ね合わせ図面/要素特異点検出 |
| 完了 |

中点検出 (初期値:オン)

チェックオンの場合、ダイナミックハイライト有効時に中点を検出します。 チェックオンでも、ダイナミックハイライトしていないときは中点の検出はし ません。

チェックオフの場合、ダイナミックハイライト有効としても中点は検出しません。

中心点検出 (初期値:オン) チェックオンの場合、円・円弧・楕円・楕円弧の中心点を検出します。 チェックオフの場合、中心点は検出しません。 中心点検出はダイナミックハイライトには依存しません。 要素上点検出 (初期値:オフ)

チェックオンの場合、ダイナミックハイライト有効時に要素上点を検出します。 チェックオンでも、ダイナミックハイライトしていないときは要素上点の検出 はしません。

チェックオフの場合、ダイナミックハイライト有効としても要素上点は検出し ません。

検出範囲内に複数の要素上点が点在する場合には、マウス位置に最も近い1点 のみを検出します。

検出範囲内に他の特異点がある場合、そちらを優先し要素上点は検出しません。 「複数点検出時に Y/N 確認する」がオンで、検出範囲内に他の特異点が存在す る場合、要素上点は Y/N 確認候補点とはなりません。検出範囲内に要素上点し かない場合には要素上点を検出します。

重ね合わせ図面/要素特異点検出 (初期値:オフ) チェックオンの場合、重ね合わせ図面上の要素特異点を検出します。 特異点には端点・中点・中心点・(重ね合わせ図面内の)交点が含まれます。 チェックオフの場合、重ね合わせ図面上の要素特異点は検出しません。 この要素特異点検出はダイナミックハイライトには依存しません。

検出音設定

「検出音設定」ボタンをクリックすると下記のダイアログボックスが表示されます。

| 検出音設定 | | | | | X |
|-------|--------|--|------|------|---|
| 検出音 | クリック音1 | | | | |
| 非検出音 | なし | | | | |
| | | | 完了 | 取消 | |

「検出音」は点検出時に特異点が検出された場合に鳴らされる音です。 「非検出音」は点検出時に特異点が検出されなかった場合に鳴らされる音です。 横向き三角形ボタンは PLAY ボタンになっています。クリックすると現在の設 定値の検出音が視聴できます。

それぞれには以下の選択肢があります。

| クリック | 音1 | 出荷時の検出音として鳴らされるビープ音 |
|----------|------|-----------------------------|
| クリック音2 | | クリック音1より弱いビープ音 |
| 一般の警告音 | | Windows システムで設定される「一般の警告音」の |
| | | WAV ファイル |
| WAV ファイル | | ユーザ指定の WAV ファイル |
| | | 右欄入力ボックスに WAV ファイルのパスを指定し |
| | | ます。 |
| | | |
| 初期値は | 検出音 | : クリック音1 |
| | 非検出音 | : なし |

システム設定 / 寸法

寸法線の線幅・寸法文字の手書き文字色に関して、システム設定 / 寸法に共通項目として追加しました。

| システム設定 | × |
|--|---|
| 線スタイル 文字スタイル SXF線端 入出力フォルダ キー定義 マウスアウ/aン 全般1 全般2 自動パックアップ 表示 色彩 検出 カーソル 標準図面 出図範囲 環境設定 ユーザー定義 バインダー 寸法 基本管理設定 マノよの標編/値で寸法を作成する 丁法の線幅 0.013mm 0.013mm | |
| ✓ 寸法値変更時、ハメアイ公差を連動する ✓ 手書き寸法文字色を寸法文字色と同じにする | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| <u> 元了 </u> 取消 通用(語) へルブ | |

線幅

寸法作成時、セットした線幅で寸法要素を作成します。 但し変更等で描かれた線幅は保持します。

手書き寸法文字色を寸法文字色と同じにする

寸法作成時、実寸法値と違う寸法値を作成する場合及び文字編集で寸法値を修 正した場合等、文字色が各寸法設定にセットされた色を無視します。

システム設定 / 標準図面

システム設定 / 標準図面設定で入力レイヤーを設定できる機能を追加しました。

| システム設定 | × |
|--|--|
| 線スタイル 1 全般1 1 標準図面 | 文字スタイル SXF線端 入出力フォルゲ キー定義 マウスアシュン 全 授 2 自動パッグアップ 表 示 色 彩 検 出 カーソル 出図範囲 環境設定 ユーザー定義 パインダー 寸法 |
| JOB.NO | V |
| タイトル | × |
| 備考 | × |
| 作業者 | |
| キー 1 | |
| +- 2 | |
| +- 3 | |
| (#-4) | |
| (4=-5) | <u> </u> |
| (40) | |
| (4=-9) | |
| ()= | |
| (+-10) | |
| 縮 尼 1/1 | 図面操長 1199 図面縦長 041 |
| 田紙山0楼 | 田紙構 田紙構 田紙構 田紙構 田紙構 田紙 田 |
| | |
| I | |
| | <u>完了</u> 取消 適用(A) ヘルプ |

新規図面作成時、設定した標準図面を参照して図面を作成した場合、標準図面 で指定されている入力レイヤーがカレントレイヤーとなって図面が作成されま す。

名前をつけて登録した場合、入力レイヤーが情報として登録されます。

「参照」で呼び出した場合、入力レイヤーが情報として登録されている場合に はその設定が反映されます。

以前のバージョンの登録情報など、入力レイヤーが情報として登録されていない場合には、1B1Lが設定されます。

システム設定 / 表示

オーバオビュー・ルーペウィンドウの表示サイズを変更できる機能を追加しました。

| システム設定 | X |
|---|---|
| 線スタイル 文字スタイル SXF線端 入、 標準図面 出図範囲 環境設定 全般1 全般2 自動パッグアップ。表示 | 出力フォルダ キー定義 マウスアクシュン ユーザー定義 バインダー 寸法 色 彩 検 出 カーソル |
| 表示倍率 ズーム倍率 IN IE MAX 1000000 OUT 0.5 ルーへ*倍率 20 スムーズ:プロール マカール範囲 C 15倍 © 20倍 | オーパービュー、ルーペ [*] オーパービュー表示サイズ [*] ルーペ表示サイズ [*] び YES/NO確認ダイアログをルーペの 外に出す **ゼロ指定で、デフォルトの表示サイズ |
| キースクロール スクロール範囲 | zu zu tō |
| 半角文字表示 ● 半角文字を全角文字と同じ幅で表示 ● 新規図面に対してのみ半角文字を半角文字のまま表示 ● すべての図面に対して半角文字を半角文字のまま表示 | 表示制御 |
| 完了 | 取消 適用(<u>A</u>) ヘルプ |

オーバービューウィンドウサイズおよびルーペウィンドウサイズを設定しま す。

オーバービューの表示サイズ変更は次回起動時から有効になります。 ウィンドウサイズは縦図面/横図面によりウィンドウの縦横比が変化します。 設定値は長い方のサイズを指定することになります。

ゼロを指定した場合は初期値でウィンドウサイズを表示します。 オーバビューのウィンドウサイズ : 長い方のサイズが 300 ピクセルです。 ルーペのウィンドウサイズ : 画面サイズの 1/3 になります。

「YES/NOの確認ダイアログをルーペの外に出す」をオンにすると確認ボタンが ルーペの外に出すことができます(初期値)。
システム設定 / バインダー

重ね合せ表示色を指定する項目を追加しました。

| | ■ ス出力フォルダ キー定義 マウスアシタレン 表示 色彩 検出 カーンル 設定 ユーザー定義 バインダー 寸法 |
|--|--|
| 基本管理設定 >-ト名表示文字数 全部表示 ▼ 加/氷>-ト文字色 | 標準>-トハ~色 795-0シーと文字色 あわ会わせ表示色 |
| ジート保存時のパス 「次に開いた時に、現在のシートで開く 「新規保存時に、読み込んだシートの元ディレクトリ | □ 現在のシートの表示状態(拡大)を保持する とファイル名を優先する |
| パインダー編集の起動 ○ ツールビュー マウス左木均ンで表示する ヘンマウスで自動的に表示する 丁マウスで自動的に表示する 丁 表示の時、マウス左外ックで閉じる。 | C が行わり下ゥクス系 □ カルクトパイクゲーのみ編集対象にする □ 図面ゲルビューの大きさを変更可能にする |
| | |
| | RT 取消 適用(A) ヘルプ |

ツールビューの重ね合せ表示色のディフォルト値の設定になります。



8 — 1

カラーラスターライト

ラスタ設定コマンドでカラーラスターに対応しました。(R版機能のみ)

カラーラスターオプションをご購入いただいた場合、下図のように設定ダイア ログボックスが変更されます。

※カラーラスターをお持ちでない場合は従来通りです。

| ラスター設定 | × |
|---|--|
| ブロック: 01B ▼ レイヤー: 01L ▼ | カラー 保存方法 © 図面に埋め込む • 図面と同じ名称で保存する |
| 密度: モノクロ ラスタ色 背景色: 08 ▼ 表示色: 00 ▼ | フォーマット ◎ ラスタ入力時のフォーマットを使用する ◎ フォーマットを指定する JPS ▼ OK キャンセル 設定記憶 |

| ブロック: | 01B 🔻 |
|-------|-------|
| レイヤー: | 01L 🔻 |

ラスターデータを配置するブロックとレイヤーを指定します。

密度:

ラスターデータの密度が表示されます。

| 「モノクロ── 「ラスタ色- | |
|-------------------|------|
| 背景色: | 08 - |
| 表示色 : | 00 - |
| | |

モノクロラスターの背景色と表示色を設定します。



【保存方法】

カラーラスターが配置された図面を HDD, HDC などのファイルに保存する際に図面に埋め込んで保存するかを選択します。

図面に埋め込む場合は下図のように HDD, HDC ファイル内に直接ラスター データを抱え込みます。

| DD | |
|-----------------|--|
| 镰 | |
| 协 | |
| 2 # | |
| 2 .5 | |

廊DD

図面と同じ名称で保存する場合は下図のように HDD, HDC ファイルとラス ターデータファイルが別々に保存されます。



ラスターデータファイルの命名規則は、保存する FDD, FDC ファイルと同 じフォルダに保存する FDD, FDC ファイル名(拡張子を含む)にラスター イメージの拡張子をつけたものです。

また、HDD保存の場合はラスターイメージの拡張子の前にシート番号が入ります。

【フォーマット】

ラスターイメージのフォーマットを変更する場合に使用します。

ラスター入力時のフォーマットを使用するがオンの場合

ラスター外部入力で読み込まれたフォーマットをそのまま使用します。

Jpg

Jpg

bmp

ltif

Ŧ

フォーマットを指定するがオンの場合

コンボボックスから変更するフォーマットを選択します。

選択できるフォーマットは

jpg JPEG フォーマット bmp WindowsBitmap



の3種類です。

OK、キャンセル、設定記憶ボタンやコマンド起動時の初期値は従来のコマンドと同様の処理をしますがカレント DB の状態によって多少変更があります。

【ラスタなし】

初期値は設定ファイルから読み込んで初期化されOKボタンはコマンドの終了です。

【モノクロラスタ】

ダイアログボックスの共通部とモノクロの設定はDBに登録されている値 で初期化され、カラーラスタの初期値は設定ファイルから読み込んで初 期化されます。

OKボタンを押した時には共通部とモノクロの設定のみをカレントラス タに反映しカラーラスタに関する設定は無視されます。

【カラーラスター】

モノクロとは逆にカラーラスタに関する設定が有効になり、モノクロに 関する情報は無視されます。